

◎小学校一般の経費

教育課題対応事業

【 教育指導課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

学校教育:子どもたちの豊かな人間性や生きる力をはぐくめる教育が実現しているまち

【事業の目的】

対象 市立小学校の児童等

意図 特色ある学校づくりを目指すとともに、教員の指導力を向上させるための研究・研修の充実を図るため。

効果 地域に根ざした特色ある学校づくりの推進及び教員の指導力の向上を図る。

【事業の内容】

(1) 特色づくり推進事業

- ・各校において、独自の創意工夫により特色ある教育活動を実践した。

(2) 研究・研修事業

- ・各校において、教育課程や児童指導等の課題について研究・研修に取り組んだ。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,613	4,298	4,215		83
主な支出内訳				
・ 特色づくり推進事業				
特色づくり講師謝礼				593
特色づくり教材用消耗品費				1,908
特色づくり学力検査委託料				67
・ 研究・研修事業				
研究・研修講師謝礼				701
研究・研修関係消耗品費				603
主な特定財源				
・ 国県支出金				
				685

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	□サービス部門 教総-26 教育課題対応事業(小学校) ■支援部門								
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	1232 地域の中の学校教育の推進(小学校) 1234 研究・研修促進事業(小学校)							
主管課	教育指導課	関連課							
分野名	学校教育								
目標 (目標値)	地域に根ざした特色ある学校づくりを目指すとともに、教員の指導力を向上させるための研究・研修の充実を図る								
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考				
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日				
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯	・各年5月1日学校基本調査				
	児 童 数	7,804人	7,523人	7,394人					
運営資源 状 況	決算値	4,215千円	3,658千円	3,736千円					
	(国・県)	685千円							
	(負担金等)								
	(一般財源)	3,530千円	3,658千円	3,736千円					
	人員配置数	0.6人	0.6人	0.6人					
	人 件 費	5,887千円	5,959千円	6,223千円					
	協 働 の パートナ ー	各学校・中体連・中文連・研究会部会他	各学校・中体連・中文連・研究会部会他	各学校・中体連・中文連・研究会部会他					
事務事業 運営経費	総事業費	10,102千円	9,617千円	9,959千円					
	市民1人当 りの経費	57円	55円	57円					
	対象者1人 当りの経費	1,294円	1,278円	1,347円					
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価									
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価			
小学校英語活動推進事業	685	平成23年度から実施される小学校外国語活動に対し、県から御成小が同推進事業の研究校(拠点校)として指定を受けて実施			④	① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)			
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
地域交流を取り入れた特色づくり実施	◎	目標値	16校	16校	16校	16校	16校		
		実績値	16校	16校					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
外部講師による教員の指導力向上を目指した研修実施	◎	目標値	16校	16校	16校	16校	16校		
		実績値	16校	16校					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)									
団体名	横浜市	川崎市	横須賀市	平塚市	鎌倉市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	備 考
公立学校数	346	115	48	28	16	35	25	18	単位:校 単位:人 単位:学級 *特別支援学級を含む
公立児童数	192,959	69,231	22,169	14,301	7,804	22,435	10,878	13,020	
公立学級数	6,691	2,511	776	507	268	700	398	401	
団体名	逗子市	葉山町							※平成20年5月1日学校基本調査より
公立学校数	5	4							
公立児童数	2,847	1,746							
公立学級数	94	64							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) <ul style="list-style-type: none"> 研究発表、公開授業への取組を生かすためには、発表日の調整や事前の紹介等を行って、より多くの参加者を得る工夫が必要である。 校内研究を組織的・継続的に進め、その内容を全市的に発信する必要がある。 小学校と中学校との連携を進める必要がある。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) <ul style="list-style-type: none"> 特色ある学校づくりの取組との連携を進めることができた。 学校訪問の際に、校内研究についての意見交換及び助言指導を行った。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) <ul style="list-style-type: none"> 研究テーマを指導方法の改善、小中連携、新教育課程移行に向けて等、今日的課題に対する取組としたい。 小学校と中学校との連携をさらに進める必要がある。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) <ul style="list-style-type: none"> 研究発表の事前の紹介等をさらに充実させる。 鎌倉市学校教育研究会の事業との連携を図る。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	研究校において指導方法の工夫改善、小中連携、新教育課程移行に向けて等、今日的課題を研究テーマとし、その成果を全市的に発信するようになりたい。				
担当課長氏名:		教育指導課長 八神 陽介			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	地域に根ざした特色ある鎌倉の教育を推進するために、今後も学校教育の充実と円滑な学校教育運営に努めたい。				
担当部名	教育総務部	部長名	宮田 茂昭		